

介護・福祉機器セミナー & 開発テーマ報告会



セミナーでは介護・福祉機器の開発のポイントや先進事例を学び、これまで検討してきた介護・福祉機器の開発テーマを発表しますので、新たな事業化の取組を検討したい、ものづくり企業の方などは積極的にご参加ください！

7/19
(火)

- **日時** 平成28年7月19日 (火) 14:00～17:00
- **場所** 山口県産業技術センター 2階 多目的ホール
(宇部市あすとぴあ4-1-1)
- **定員** 50人(入場無料)

基調講演

「介護・福祉機器の開発・実用化、新規参入のポイント」

日本福祉用具・生活支援用具協会 (JASPA)
専務理事・事務局長 清水 壮一 氏



先進機器開発事例研究

「日本の未来＝ロボット×ヘルスケア」

マッスル株式会社 代表取締役 玉井 博文 氏



「介護・福祉機器の研究開発テーマ発掘ワークショップ」 ワークショップメンバーによる 開発テーマ報告会

代表報告者

地方独立行政法人山口県産業技術センター
イノベーション推進センター 医療関連推進チーム
プロジェクトプロデューサー 安田 研一



デモンストレーション

移乗介助機器「ロボヘルパー SASUKE」



報告会参加に際しての留意点

報告会の参加者は当日、秘密保持に関してご署名いただくことになっておりますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

基調講演等のご紹介

『介護・福祉機器の開発・実用化、新規参入のポイント』

日本福祉用具・生活支援用具協会（JASPA）
専務理事・事務局長 清水 壮一 氏



「日本福祉用具・生活支援用具協会（JASPA）」は、福祉用具等の利用者の立場に立った製品の品質や使い方等の安心・安全に貢献するために設立されました。

今回は、主に中小企業を対象に、新たに介護・福祉機器を開発・実用化するに当たって、重要となるポイントについてご講演いただきます。

『日本の未来＝ロボット×ヘルスケア』

マッスル株式会社
代表取締役 玉井 博文 氏

マッスル(株)は、モータ制御等が業務の中心でしたが、2010年上海万博日本産業館で人気を博した「夢ROBO」を開発し、これを契機にロボットメーカーとなりました。

今回は、ロボットメーカーとして参入した経緯や、介護機器である「ロボヘルパー SASUKE」の開発についてご講演いただきます。



移乗介助機器
「ロボヘルパー SASUKE」
(操作・体験が出来ます！)

『介護・福祉機器の研究開発テーマ発掘ワークショップ』

ワークショップメンバーによる 開発テーマ報告会

これまでワークショップで検討してきた介護・福祉機器の開発テーマ（ニーズステートメント）を発表し、今後、事業化を目指した「テーマ別検討会」の参加者を募ります。

イノベーション推進センターが開発から製品化までワンストップで支援していきます！

問い合わせ先/参加申込書

資料の準備の関係上、**7月14日（木）**までにお申し込みください

(地独)山口県産業技術センター
イノベーション推進センター 行き
(担当：渋谷・島川)



0836-53-5061



0836-53-5071



inv_medical@iti-yamaguchi.or.jp



貴社名			
電 話		F A X	
参 加 者		所 属 ・ 役 職	
氏 名：			
E-mail：			
氏 名：			
E-mail：			
セミナー時に質問したい内容がございましたら御記入ください。			

【個人情報等の取り扱いについて】

参加申込書に関する会社情報／個人情報は、(地独)山口県産業技術センターが実施している「ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業」以外の目的での使用や、本人の同意なく第三者への提供または開示をしません。